

中学生のインターネットの利用状況と依存傾向に関する調査
(調査結果全体版)

平成28年6月

総務省情報通信政策研究所

【目次】

全体概要	1	調査実施概要
依存傾向	2-1	インターネット依存傾向 ～計測手法～
	2-2	インターネット依存傾向 ～評価尺度～
	2-3	インターネット依存傾向 ～中学生のネット依存傾向の判定結果①～
	2-4	インターネット依存傾向 ～中学生のネット依存傾向の判定結果②～
機器利用状況	3-1	中学生の機器利用 ～機器ごとのネット利用率～
	3-2	中学生の機器利用 ～機器ごとのネット利用時間～
	3-3	中学生の機器利用 ～サービスごとのネット利用時間 ①パソコン・タブレット端末
	3-4	中学生の機器利用 ～サービスごとのネット利用時間 ②スマートフォン・ガラケー
ソーシャルメディアの利用状況	4-1	ソーシャルメディアの利用状況 ～利用の有無～
	4-2	ソーシャルメディアの利用状況 ～サービスごとの利用割合～
	4-3	ソーシャルメディアの利用状況 ～サービスごとの利用時間～
	4-4	ソーシャルメディアの利用状況 ～よくやり取りする相手（人数）～
	4-5	ソーシャルメディアの利用状況 ～利用目的～
	4-6	ソーシャルメディアの利用状況 ～利用する際、悩んだり負担に感じることに～
ネットの利用状況	5-1	中学生のネット利用 ～ネット利用によるメリット～
	5-2	中学生のネット利用 ～ネット利用による友だち・保護者との関係への影響～
	5-3	中学生のネット利用 ～ネット利用による生活への影響等①～
	5-4	中学生のネット利用 ～ネット利用による生活への影響等②～
スマホ・ガラケーの利用状況	6-1	中学生のスマートフォン／ガラケーの利用 ～使い始めてから大幅に減った時間～
	6-2	中学生のスマートフォン／ガラケーの利用 ～保護者との約束～
	6-3	中学生のスマートフォン／ガラケーの利用 ～フィルタリング利用～
	6-4	中学生のスマートフォン／ガラケーの利用 ～フィルタリング利用（サービスごと）～
	6-5	中学生のスマートフォン／ガラケーの利用 ～フィルタリング説明～
社会生活・人間関係	7-1	中学生の社会生活・人間関係 ～日常生活への満足度～
	7-2	中学生の社会生活・人間関係 ～心理傾向～
	7-3	中学生の社会生活・人間関係 ～友人関係～
	7-4	中学生の社会生活・人間関係 ～保護者との関係～

1 調査実施概要

調査の目的

- 近年、中学生にもスマートフォンが急速に普及しつつあり、ネットワークを介して動画やゲーム、ソーシャルメディアといった各種サービスへのアクセスが容易になっており、ネット利用の長時間化、ネット依存傾向の低年齢化が懸念されている。

このため、総務省情報通信政策研究所では、東京大学情報学環 橋元良明教授ほか※と共同で、横浜市の協力を得て、横浜市内の中学校を対象として調査研究を実施した。本調査研究は、インターネット利用の実態、友人関係や保護者との関係等を分析することによりインターネット依存傾向の実態やその背景を明らかにすることを目的としている。

※ 大野志郎氏(立教女学院短期大学現代コミュニケーション学科助教)、天野美穂子氏(東京大学大学院学際情報学府博士課程 橋元研究室在籍)、堀川裕介氏(東京大学大学院学際情報学府博士課程 橋元研究室在籍)

調査の概要

- 横浜市の協力を得て、市内の公立中学校を対象に調査を実施。
 - 調査対象校：横浜市内の公立中学校148校(81,279人)のうち22校(11,589人)で実施(括弧内は生徒数の合計)
(横浜市教育委員会事務局を通じて調整を行い、調査への協力が同意が得られた22校を対象に実施)
 - 調査手法：無記名自記式質問紙調査
(株)山手情報処理センターにおいて、対象の中学校へ一括して調査票を郵送し、回収は学校から一括して返送
 - 調査対象者：各中学校において全学年、全クラスを対象として実施
 - 有効回答数：合計 10,596票(1年生:3,550票、2年生:3,636票、3年生:3,410票)
 - 調査期間：平成27年2月18日～3月13日

2-1 インターネット依存傾向 ～計測手法～

インターネット依存傾向の計測手法

◆ インターネット依存尺度を用いた判定

- 「ネット依存傾向」については、米国の心理学者キンバリー・ヤング博士の提唱した20項目のインターネット依存尺度(1998年)を参考に、ソーシャルメディアの普及に応じた文言に修正し、中学生向けに記述を調整※したものを活用した。ヤング博士の手法に従い、それぞれの項目の点数の合計(100点～20点)に応じて、依存傾向を「高」(70点以上)、「中」(69点～40点)、「低」(39点～20点)の3段階に分類して判定を行った。

◆ 手法の課題

- スマートフォンやソーシャルメディアの普及など情報環境の変化が急速であるため、尺度の項目選択や文章表現等については時代に応じて見直しを行う必要がある。
 - ・ 例えば、「気がつくと思っていたより長い時間ネットをしていることがある」の項目は、「いつもある」、「よくある」、「ときどきある」と回答した割合(合計)は78.0%となっており、もはや利用形態としては一般化していることを示すものであり、依存傾向の尺度として適切であるか疑問があるものと考えられる。
 - ・ 他方、尺度とは別に新たに追加した「自分の身近にケータイが無いと落ち着かない」、「友だちからのメッセージが気になりネットで常に確認している」の項目は、「いつもある」、「よくある」、「ときどきある」と回答した割合(合計)が、全体では、それぞれ26.7%、20.8%であるのに対して、依存傾向「高」では、それぞれ75.8%、65.0%と約3倍となっていることは注目に値する。
 - ・ 依存尺度の時代適合性を高めるためには、より利用実態に即した項目や日常生活への実害の有無などの項目を加える等の検討が必要ではないかと考えられる。

※ Young, K S., Caught in the Net: How to Recognize the Signs of Internet Addiction and a Winning Strategy for Recovery (1998)を参考に東京大学大学院情報学環 橋元研究室と調整

2-2 インターネット依存傾向 ～評価尺度～

ネット依存傾向の評価尺度

- ◆ 以下の各項目について「いつもある」(5点)、「よくある」(4点)、「ときどきある」(3点)、「めったにない」(2点)、「まったくない」(1点)の5つの選択肢の評点を合算して得点化。
- ◆ ヤング博士の手法に従い、「70点以上」(ネット依存傾向「高」)、「40-69点」(ネット依存傾向「中」)、「20-39点」(ネット依存傾向「低」)に分類。

1. 気がつくとき、思っていたより長い時間ネットをしていることがある
2. ネットを長く利用していたために、家の手伝い(炊事、掃除、洗濯など)をおろそかにすることがある
3. 家族や友だちと過ごすよりも、ネットを利用したいと思うことがある
4. ネットで新しく知り合いを作ることがある
5. 周りの人から、ネットを利用する時間や回数について文句を言われたことがある
6. ネットをしている時間が長くて、学校の成績が下がっている
7. ネットが原因で、勉強の能率に悪影響が出ることがある
8. 他にやらなければならないことがあっても、まず先にソーシャルメディア(LINE、Twitterなど)やメールをチェックすることがある
9. 人にネットで何をしているのか聞かれたとき、言い訳をしたり、隠そうとしたりすることがある
10. 日々の生活の問題から気をそらすために、ネットで時間を過ごすことがある
11. 気がつけば、また次のネット利用を楽しみにしていることがある
12. ネットのない生活は、退屈で、むなしく、わびしいだろうと不安に思うことがある
13. ネットをしている最中に誰かに邪魔をされると、イライラしたり、怒ったり、言い返したりすることがある
14. 夜遅くまでネットをすることが原因で、睡眠時間が短くなっている
15. ネットをしていないときでも、ネットのことを考えてぼんやりしたり、ネットをしているところを空想したりすることがある
16. ネットをしているとき「あと数分だけ」と自分で言い訳していることがある
17. ネットをする時間や回数を減らそうとしても、できないことがある
18. ネットをしている時間や回数を、人に隠そうとすることがある
19. 誰かと外出するより、ネットを利用することを選ぶことがある
20. ネットをしている時は何ともないが、ネットをしていない時はイライラしたり、憂うつな気持ちになったりする

(注) 「ネット依存」が精神的病理に該当するか否かについては様々な議論があり、ヤング基準で依存傾向「高」に分類された者について、必ずしも医学的な治療が必要な者であるとは限らない。

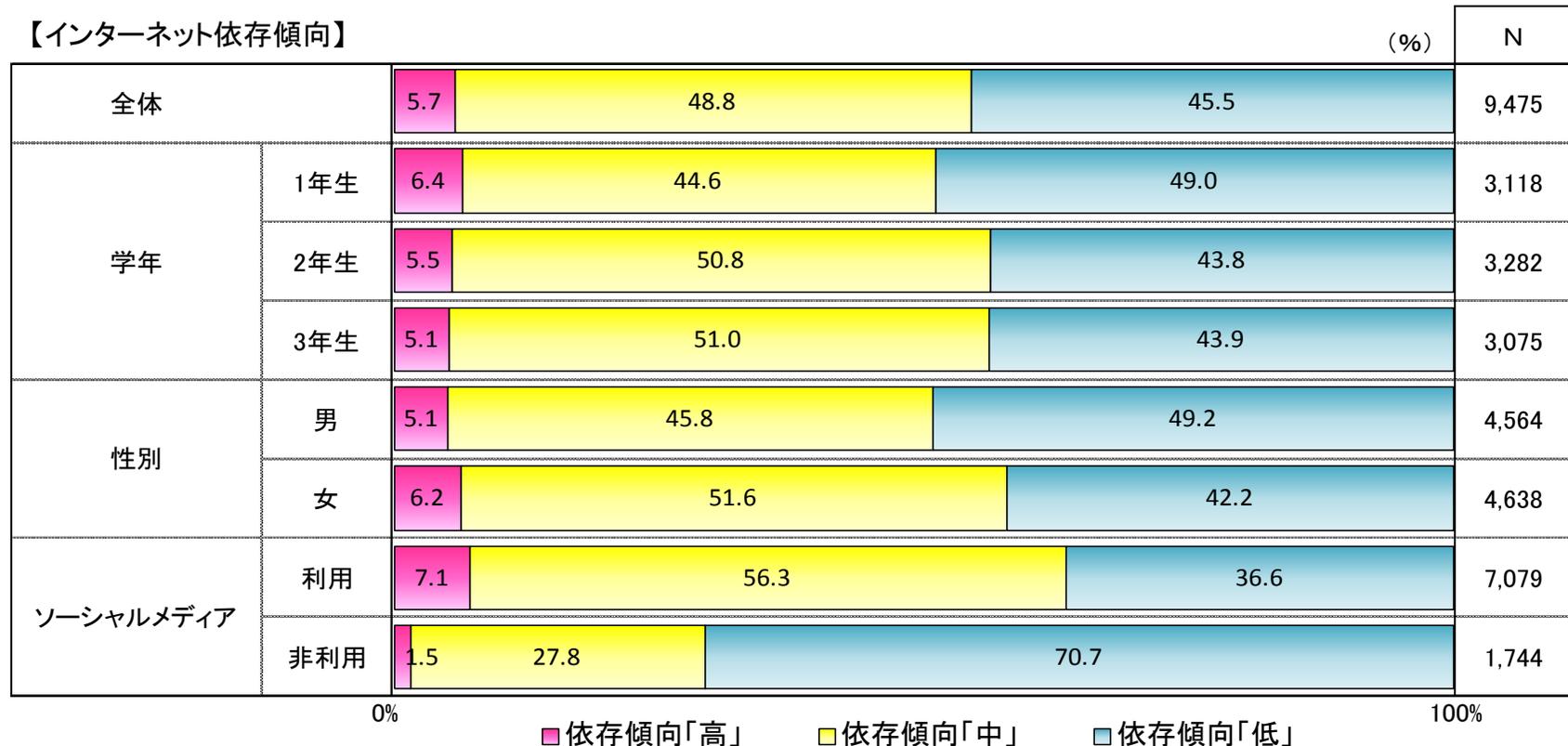
2-3 インターネット依存傾向 ～中学生のネット依存傾向の判定結果①～

◆ ネット依存傾向「高」の割合は5.7%。

- 依存傾向「高」は、学年が下がるほど割合がやや高い傾向(1年生:6.4%、2年生:5.5%、3年生:5.1%)となっている。
- 依存傾向「高」は、女子(6.2%)の方が男子(5.1%)よりも割合がやや高い傾向となっている。

◆ ソーシャルメディアを利用している生徒は利用していない生徒に比べてネット依存傾向が高い。

- ソーシャルメディア利用者のうち依存傾向「高」に該当する割合(7.1%)は、非利用者で依存傾向「高」に該当する割合(1.5%)に比べて顕著に高い。



(注) ソーシャルメディアとは、LINE(ライン)、Twitter(ツイッター)、Facebook(フェイスブック)、mixi(ミクシィ)などを指す。

※ 分析母数は有効回答数全体(ただし、DK、NAを除いて集計)。
 ※ 四捨五入の関係で、合計が100%にならない場合がある。

2-4 インターネット依存傾向 ～中学生のネット依存傾向の判定結果②～

◆ 「1. 気がつく、思っていたより長い時間ネットをしていることがある」は78.0%。

- 依存傾向「低」(57.4%)でも半数を超えており、利用形態として一般的であるものと考えられる。
- 「2. ネットを長く利用していたために、家の手伝い(炊事、掃除、洗濯など)をおろそかにすることがある」、「8. 他にやらなければならないことがあっても、まず先にソーシャルメディアやメールをチェックすることがある」、「14. 夜遅くまでネットをすることが原因で、睡眠時間が短くなっている」等は、約半数が該当。これらの項目も、一般的な利用形態である可能性がある。
- 他方、試行的に加えた「21. 自分の身近にケータイが無いと落ち着かない」、「24. 友だちからのメッセージが気がかりでネットを常に確認している」については、依存傾向「高」と「中」で該当する割合の差が約40%と顕著である。

	全体 (N)	依存傾向		
		「高」 N=536	「中」 N=4,625	「低」 N=4,314
1. 気がつく、思っていたより長い時間ネットをしていることがある	78.0% (10,482)	99.3%	93.9%	57.4%
2. ネットを長く利用していたために、家の手伝い(炊事、掃除、洗濯など)をおろそかにすることがある	49.7% (10,440)	92.0%	69.5%	22.0%
3. 家族や友だちと過ごすよりも、ネットを利用したいと思うことがある	32.0% (10,378)	87.7%	46.4%	8.8%
4. ネットで新しく知り合いを作ることがある	31.6% (10,386)	78.9%	43.6%	11.8%
5. 周りの人から、ネットを利用する時間や回数について文句を言われたことがある	42.4% (10,464)	85.3%	59.9%	17.3%
6. ネットをしている時間が長くて、学校の成績が下がっている	32.0% (10,422)	81.7%	46.8%	7.9%
7. ネットが原因で、勉強の能率に悪影響が出ることがある	39.4% (10,360)	84.9%	57.9%	12.3%
8. 他にやらなければならないことがあっても、まず先にソーシャルメディア(LINE、Twitterなど)やメールをチェックすることがある	46.6% (10,474)	87.1%	64.8%	20.1%
9. 人にネットで何をしているのか聞かれたとき、言い訳をしたり、隠そうとしたりすることがある	19.0% (10,473)	65.1%	26.7%	3.5%
10. 日々の生活の問題から気をそらすために、ネットで時間を過ごすことがある	35.4% (10,456)	92.7%	52.0%	8.9%
11. 気がつけば、また次のネット利用を楽しみにしていることがある	45.8% (10,435)	97.4%	68.0%	14.5%
12. ネットのない生活は、退屈で、むなしく、わびしいだろうと不安に思うことがある	36.4% (10,447)	94.8%	52.8%	10.0%
13. ネットをしている最中に誰かに邪魔をされると、イライラしたり、怒ったり、言い返したりすることがある	31.5% (10,374)	88.6%	45.3%	8.5%
14. 夜遅くまでネットをすることが原因で、睡眠時間が短くなっている	46.3% (10,343)	95.0%	68.1%	15.2%
15. ネットをしていないときでも、ネットのことを考えてぼんやりしたり、ネットをしているところを空想したりすることがある	17.1% (10,355)	80.4%	23.4%	1.2%
16. ネットをしているとき「あと数分だけ」と自分で言い訳していることがある	43.7% (10,350)	89.0%	63.0%	15.9%
17. ネットをする時間や回数を減らそうとしても、できないことがある	38.7% (10,306)	94.8%	59.5%	8.2%
18. ネットをしている時間や回数を、人に隠そうとすることがある	15.0% (10,315)	60.4%	21.1%	1.9%
19. 誰かと外出するより、ネットを利用することを選ぶことがある	18.6% (10,314)	75.6%	26.2%	2.7%
20. ネットをしている時は何ともないが、ネットをしていない時はイライラしたり、憂うつな気持ちになったりする	9.9% (10,358)	68.8%	11.6%	0.6%
21. 自分の身近にケータイ(スマートフォンやガラケー)が無いと落ち着かない	26.7% (10,336)	75.8%	36.6%	8.5%
22. ネット上のメッセージにはすぐに返信する	47.2% (10,302)	85.1%	59.8%	27.6%
23. ネットでやり取りしている時、相手からの返信が遅いとイライラする	12.5% (10,319)	45.4%	16.5%	3.4%
24. 友だちからのメッセージが気がかりでネットを常に確認している	20.8% (10,330)	65.0%	28.9%	5.3%

(注) 5段階中、「いつもある」「よくある」「時々ある」の回答比率を合計したもの。

(注) 1~20: ヤング博士の提唱した20項目をもとに実際にネット依存傾向を算出した質問項目。21~24: 依存関連項目として追加した質問項目。

※ 分析母数は有効回答数全体

※ DK、NAを除いて集計しているため項目ごとのN数は異なる。5

3-1 中学生の機器利用 ～機器ごとのネット利用率～

◆ ネット利用している機器は、パソコン(76.7%)が最も多く、次いでスマートフォン(73.1%)が多い。

➤ いずれの機器についても、ネット依存傾向が高いほどネット利用率が高い。

【機器ごとの利用率】

		パソコン (N)		スマートフォン (N)		ガラケー (N)		タブレット端末 (N)	
全体		76.7%	10,130	73.1%	10,209	49.8%	9,897	47.9%	9,916
学年	1年生	72.5%	3,376	69.2%	3,406	46.5%	3,313	48.7%	3,312
	2年生	77.9%	3,486	71.9%	3,492	49.4%	3,390	50.1%	3,421
	3年生	79.7%	3,268	78.3%	3,311	53.4%	3,194	44.7%	3,183
性別	男	75.2%	4,907	70.3%	4,940	44.6%	4,763	47.2%	4,791
	女	78.4%	4,861	74.9%	4,898	54.3%	4,788	48.3%	4,774
ネット依存傾向	高	87.7%	522	86.1%	525	56.4%	505	58.3%	513
	中	80.3%	4,428	81.2%	4,506	50.3%	4,323	51.3%	4,353
	低	71.4%	4,122	61.5%	4,122	48.0%	4,055	42.0%	4,026

(注) ガラケー:スマートフォン以前の型の携帯電話(PHSを含む)。

※ 分析母数は有効回答数全体。

※ DK、NAを除いて集計しているため項目ごとのN数は異なる。

3-2 中学生の機器利用 ～機器ごとのネット利用時間～

◆ ネット利用時間は、スマートフォン(125.7分)が他の機器と比べて最も長時間となっている。

➢ いずれの機器についても、学年が上がるほどネット利用時間が長く、パソコン、タブレット端末については男子が、スマートフォン、ガラケーについては女子の利用時間が長い。

➢ いずれの機器についても、ネット依存傾向が高いほどネット利用時間が長い。特に、スマートフォンについては、依存傾向「高」は、250.7分で全体の約2倍となっている。

◆ ソーシャルメディア利用者は、スマートフォンによるネット利用時間(158.1分)が非利用者の利用時間(24.8分)に比べて顕著に長い。

【機器ごとのネット利用時間】

		パソコン		スマートフォン		ガラケー		タブレット端末	
			(N)		(N)		(N)		(N)
全体		40.2	9,505	125.7	9,986	15.5	9,425	38.1	9,301
学年	1年生	34.2	3,190	105.2	3,340	13.2	3,184	36.2	3,132
	2年生	39.3	3,295	110.6	3,430	13.8	3,248	38.0	3,224
	3年生	47.6	3,020	163.0	3,216	19.7	2,993	40.2	2,945
性別	男	44.1	4,594	111.3	4,801	12.5	4,521	41.2	4,473
	女	35.5	4,596	135.6	4,839	18.1	4,613	34.8	4,523
ネット依存傾向	高	95.5	492	250.7	509	24.0	487	70.7	485
	中	45.6	4,181	155.8	4,427	16.3	4,121	45.9	4,103
	低	25.5	3,882	71.4	4,050	12.8	3,914	24.4	3,809
ソーシャルメディア	利用	40.8	7,086	158.1	7,546	15.0	6,977	42.1	6,931
	非利用	38.3	1,720	24.8	1,731	16.8	1,738	26.1	1,696

※ 分析母数は有効回答数全体。

※ DK、NAを除いて集計しているため項目ごとのN数は異なる。

3-3 中学生の機器利用 ～サービスごとのネット利用時間① パソコン／タブレット端末～

◆ パソコン／タブレットでのサービスごとのネット利用時間は、「動画サイトを見る」(41.3分)が最も長く、次いで「ゲームをする」(28.7分)が長い。

- いずれのサービスについても、ネット依存傾向が高いほど利用時間が長い。
- 「ゲームをする」については、男子(39.6分)の方が女子(16.4分)の2倍以上となっている。

【サービスごとのネット利用時間(パソコン／タブレット端末)】

(分)

		動画サイトを見る		ソーシャルメディアを見る		ソーシャルメディアに書き込む		ソーシャルメディアで通話をする		ゲームをする		ニュースサイトを見る		ブログを見る	
		(N)		(N)		(N)		(N)		(N)		(N)		(N)	
全体		41.3	9,264	14.4	8,055	9.3	7,928	4.4	8,695	28.7	8,886	6.0	8,755	4.0	8,713
学年	1年生	38.4	3,127	11.2	2,755	8.8	2,719	2.9	2,959	27.1	3,035	5.3	2,983	3.5	2,967
	2年生	42.3	3,255	13.2	2,827	7.0	2,780	4.1	3,071	28.7	3,130	5.5	3,084	4.1	3,075
	3年生	43.4	2,882	19.3	2,473	12.4	2,429	6.5	2,665	30.4	2,721	7.5	2,688	4.4	2,671
性別	男	44.5	4,547	13.4	3,829	8.6	3,777	5.6	4,246	39.6	4,376	6.8	4,279	3.6	4,262
	女	37.3	4,405	15.0	3,978	9.4	3,913	2.8	4,183	16.4	4,229	4.8	4,205	3.9	4,183
ネット依存傾向	高	78.7	476	40.4	418	33.7	414	17.2	437	67.6	455	8.0	444	10.1	441
	中	48.8	3,998	18.4	3,487	11.6	3,430	4.9	3,745	33.3	3,839	6.6	3,778	4.5	3,756
	低	28.3	3,921	6.5	3,430	3.5	3,386	1.5	3,727	17.0	3,771	4.8	3,741	2.5	3,737

※ 分析母数は有効回答数全体。

※ DK、NAを除いて集計しているため項目ごとのN数は異なる。

3-4 中学生の機器利用 ～サービスごとのネット利用時間② スマートフォン／ガラケー～

◆ スマートフォン／ガラケーでのサービスごとのネット利用時間は、「ソーシャルメディアを見る」(55.5分)が最も長く、次いで「ゲームをする」(46.5分)が長い。

- いずれのサービスについても、ネット依存傾向が高いほど利用時間が長く、「ニュースサイトを見る」(13.1分)を除き、全体の2倍以上となっている。
- 「ゲームをする」については、男子(61.1分)の方が女子(30.4分)の2倍以上となっている。
- 一方で、「ソーシャルメディアを見る」「ソーシャルメディアに書き込む」は女子がそれぞれ70.9分、40.4分と男子の2倍弱となっており、女子の方がソーシャルメディアの利用に時間を費やしていることがうかがえる。

【サービスごとのネット利用時間(スマートフォン／ガラケー)】

		動画サイトを見る		ソーシャルメディアを見る		ソーシャルメディアに書き込む		ソーシャルメディアで通話をする		ゲームをする		ニュースサイトを見る		ブログを見る	
		(N)		(N)		(N)		(N)		(N)		(N)		(N)	
全体		42.4	9,610	55.5	8,671	32.5	8,578	12.5	9,290	46.5	9,525	8.3	9,326	6.6	9,248
学年	1年生	38.5	3,252	46.1	2,936	28.8	2,914	10.4	3,137	45.5	3,238	7.0	3,158	6.1	3,123
	2年生	40.7	3,307	45.9	2,983	27.9	2,954	10.3	3,227	42.7	3,287	7.6	3,231	6.1	3,216
	3年生	48.4	3,051	75.9	2,752	41.4	2,710	17.0	2,926	51.8	3,000	10.4	2,937	7.9	2,909
性別	男	42.9	4,605	36.8	4,029	22.7	3,977	9.9	4,428	61.1	4,588	8.8	4,457	4.7	4,397
	女	40.3	4,683	70.9	4,357	40.4	4,324	13.8	4,562	30.4	4,620	7.3	4,569	7.9	4,550
ネット依存傾向	高	91.3	472	121.1	434	80.6	432	36.9	461	93.0	468	13.1	463	14.2	457
	中	51.2	4,271	73.1	3,870	42.4	3,829	14.6	4,120	54.1	4,224	9.4	4,127	8.4	4,092
	低	23.8	3,960	26.7	3,569	14.3	3,536	5.8	3,858	29.9	3,934	6.1	3,879	3.2	3,848

※ 分析母数は有効回答数全体。

※ DK、NAを除いて集計しているため項目ごとのN数は異なる。

4-1 ソーシャルメディアの利用状況 ～利用の有無～

◆ 全体の80.8%がソーシャルメディアを利用している。

- 学年が上がるほどソーシャルメディアを利用している割合が高く、女子(81.3%)の方が男子(79.4%)よりも割合が高い。
- ネット依存傾向が高いほどソーシャルメディアの利用割合は高い。特に、依存傾向「高」においては94.9%と非常に高い。ただし、依存傾向「低」でも67.7%と多くの生徒(約2/3)が利用しており、ソーシャルメディアの利用が進んでいることがうかがえる。

【ソーシャルメディアの利用状況】			N	
全体		80.8%	19.2%	9,796
学年	1年生	75.4%	24.6%	3,181
	2年生	81.0%	19.0%	3,395
	3年生	86.1%	13.9%	3,220
性別	男	79.4%	20.6%	4,672
	女	81.3%	18.7%	4,761
ネット依存傾向	高	94.9%	5.1%	527
	中	89.2%	10.8%	4,473
	低	67.7%	32.3%	3,823

■ ソーシャルメディアを利用している ■ 利用していない

※ 分析母数は有効回答数全体(ただし、DK、NAを除いて集計)。

4-2 ソーシャルメディアの利用状況 ～サービスごとの利用割合～

◆ ソーシャルメディアの利用割合は、LINE【ライン】(88.6%)が最も高く、次いでTwitter【ツイッター】(49.6%)が高い。

➢ 全体的にネット依存傾向が高いほど利用割合が高いが、LINEについては、利用割合自体は依存傾向、学年、性別による違いがあまり見られず、ソーシャルメディアとして中学生に一般的なアプリとなっていることがうかがえる。

【ソーシャルメディアのサービスごとの利用割合】

		LINE (ライン)	(N)	Twitter (ツイッター)	(N)	Facebook (フェイスブック)	(N)	mixi (ミクシィ)	(N)	その他の ソーシャルメディア	(N)
全体		88.6%	7,010	49.6%	6,999	12.1%	7,030	3.5%	7,000	20.6%	6,800
学年	1年生	88.2%	2,093	35.0%	2,093	11.3%	2,106	4.0%	2,084	20.4%	2,050
	2年生	87.2%	2,446	50.3%	2,448	11.4%	2,438	3.3%	2,432	20.4%	2,351
	3年生	90.3%	2,471	61.3%	2,458	13.4%	2,486	3.3%	2,484	21.1%	2,399
性別	男	88.9%	3,242	44.1%	3,212	12.7%	3,200	4.4%	3,183	14.9%	3,098
	女	88.0%	3,496	54.3%	3,506	11.3%	3,544	2.5%	3,535	25.4%	3,431
ネット依存傾向	高	88.4%	455	68.4%	452	20.4%	455	10.9%	450	40.4%	436
	中	90.5%	3,559	54.9%	3,548	12.6%	3,572	3.5%	3,544	22.6%	3,437
	低	85.6%	2,274	37.3%	2,281	8.4%	2,291	1.6%	2,290	12.6%	2,243

(注) 「利用割合」は、「見るだけ」+「書き込みもする」と回答した割合。

※ 分析母数はソーシャルメディア利用者数(ただし、DK、NAを除いて集計しているため項目ごとのN数は異なる)。

4-3 ソーシャルメディアの利用状況 ～サービスごとの利用時間～

◆ ソーシャルメディアの利用時間は、LINE【ライン】(87.9分)が最も長く、次いでTwitter【ツイッター】(69.7分)が長い。

- すべてのソーシャルメディアについて、ネット依存傾向が高いほど利用時間が長い。特に、ネット依存傾向「高」はLINE(142.1分)、Twitter(120.1分)の利用時間が長い。
- mixi(ミクシィ)以外のすべてのソーシャルメディアについて、女子の方が男子よりも利用時間が長い、特にLINE、Twitterでその差が顕著である。

【ソーシャルメディアのサービスごとの利用時間(平日)】

(分)

		LINE (ライン)		Twitter (ツイッター)		Facebook (フェイスブック)		mixi (ミクシィ)		その他の ソーシャルメディア	
			(N)		(N)		(N)		(N)		(N)
全体		87.9	6,606	69.7	3,659	27.0	917	38.4	367	62.2	1,580
学年	1年生	84.9	2,016	53.6	812	25.5	289	45.5	141	58.5	494
	2年生	76.0	2,281	56.8	1,290	23.5	302	31.6	117	56.7	563
	3年生	102.4	2,309	88.7	1,557	31.5	326	36.4	109	71.5	523
性別	男	66.2	3,094	46.2	1,514	22.3	459	40.2	220	56.2	573
	女	108.6	3,237	86.5	1,992	29.9	413	28.7	127	65.9	932
ネット依存傾向	高	142.1	423	120.1	322	47.7	97	52.3	47	115.9	189
	中	98.1	3,421	72.9	2,057	21.5	492	34.8	194	57.7	882
	低	60.3	2,073	42.4	885	21.3	201	17.6	72	40.5	321

※ 分析母数は各サービスの利用者であり、数値は行為者平均(ただし、DK、NAを除いて集計)。

4-4 ソーシャルメディアの利用状況 ～よくやり取りする相手(人数)～

◆ **ソーシャルメディアでよくやり取りするのは、「同じ学校の友だち」(24.7人)が最も多く、次いで「ソーシャルメディア上だけでよくやり取りし、実際には会ったことのない友だち」(18.6人)が多い。**

- 学年が上がるほど「ソーシャルメディア上だけでよくやり取りし、実際には会ったことのない友だち」の人数が多い(1年生:15.7人、2年生:17.6人、3年生:22.3人)。
- ネット依存傾向が高いほど「家族」を除き、ソーシャルメディアでやり取りする人数がやや多い傾向となっている。特に、依存傾向「高」は、「ソーシャルメディア上で初めて知り合い、実際に会ったこともある友だち」(4.8人)は全体(2.0人)の2倍以上、「ソーシャルメディア上だけでよくやり取りし、実際には会ったことのない友だち」(60.3人)は全体(18.6人)の3倍以上となっている。
また、依存傾向「高」は、やり取りする相手として、会ったことのない友人(ソーシャルメディアだけでやり取りする友人)の人数の方が顔見知り(リアルな友人)の人数よりも多い傾向となっている。

【ソーシャルメディアでよくやり取りする相手(人数)】

(人)

		家族		同じ学校の友だち		学校外の活動を通じて知り合った友だち		ソーシャルメディア上で初めて知り合い、実際に会ったこともある友だち		ソーシャルメディア上だけでよくやり取りし、実際には会ったことのない友だち	
		(N)	(人)	(N)	(人)	(N)	(人)	(N)	(人)	(N)	(人)
全体		2.1	7,540	24.7	7,365	9.6	7,341	2.0	7,353	18.6	7,357
学年	1年生	2.3	2,276	29.2	2,230	10.6	2,234	2.1	2,212	15.7	2,215
	2年生	2.1	2,614	23.6	2,577	9.3	2,558	2.0	2,567	17.6	2,566
	3年生	2.0	2,650	21.9	2,558	9.0	2,549	1.9	2,574	22.3	2,576
性別	男	2.0	3,511	25.7	3,436	10.3	3,418	2.1	3,411	16.8	3,420
	女	2.2	3,715	23.6	3,645	8.6	3,631	1.8	3,645	20.3	3,642
ネット依存傾向	高	2.0	484	28.6	473	12.0	478	4.8	474	60.3	470
	中	2.1	3,822	25.4	3,749	9.6	3,734	2.2	3,733	20.0	3,748
	低	2.1	2,439	22.2	2,378	8.6	2,375	1.1	2,385	7.7	2,386

※ 分析母数はソーシャルメディア利用者数(ただし、DK、NAを除いて集計しているため項目ごとのN数は異なる)。

4-5 ソーシャルメディアの利用状況 ～利用目的～

◆ ソーシャルメディアの利用目的は、「友だちや知り合いとコミュニケーションをとるため」(77.1%)、「学校・部活動などの事務的な連絡のため」(68.1%)、「ひまつぶしのため」(61.1%)が多い。

- ネット依存傾向「高」は、「新しく友だちを作るため」(31.7%)、「自分の近況や気持ちを知ってもらうため」(29.3%)が全体の2倍以上となっている。ソーシャルメディアについて、自分についての情報発信のために活用する傾向が強いことがうかがえる。
- 一方で、ネット依存傾向「高」は、「ストレス解消のため」(52.7%)、「現実から逃れるため」(47.5%)と必ずしもポジティブではない目的も半数程度に達し、それぞれ全体の3倍から4倍となっている。

【ソーシャルメディアを利用する理由・目的(複数回答)】

		友だちや知り合いとコミュニケーションをとるため	新しく友だちを作るため	学校・部活動などの事務的な連絡のため	周囲の人も使っているため	自分の近況や気持ちを知ってもらうため	情報収集のため	写真・動画などを気軽に投稿・シェアできるため	ひまつぶしのため	ストレス解消のため	現実から逃れるため	その他	N
全体		77.1%	13.4%	68.1%	35.7%	11.6%	50.6%	30.6%	61.1%	16.3%	10.6%	4.9%	7,452
学年	1年生	76.5%	14.6%	69.9%	35.2%	12.6%	44.6%	26.9%	57.7%	18.3%	10.9%	5.7%	2,219
	2年生	76.8%	11.8%	69.1%	34.8%	11.0%	50.7%	31.3%	61.5%	16.3%	10.8%	5.3%	2,591
	3年生	77.8%	14.0%	65.7%	37.1%	11.4%	55.6%	33.0%	63.4%	14.5%	10.1%	3.9%	2,642
性別	男	72.8%	10.5%	63.9%	31.8%	8.6%	47.4%	22.5%	58.5%	13.2%	7.0%	4.5%	3,452
	女	81.5%	16.1%	72.7%	40.0%	14.2%	53.9%	38.3%	63.5%	19.2%	13.7%	4.9%	3,699
ネット依存傾向	高	78.2%	31.7%	56.4%	48.5%	29.3%	62.7%	51.9%	77.8%	52.7%	47.5%	8.9%	482
	中	79.4%	15.7%	69.6%	41.4%	13.5%	55.2%	36.1%	68.2%	18.8%	11.3%	4.2%	3,807
	低	73.5%	5.8%	70.0%	25.7%	5.2%	41.6%	16.9%	46.4%	4.7%	2.0%	5.4%	2,385

※ 分析母数はソーシャルメディア利用者数(ただし、DK、NAを除いて集計)。

4-6 ソーシャルメディアの利用状況 ～利用する際、悩んだり負担に感じること～

◆ ソーシャルメディアを利用する際に悩んだり負担に感じることは、「友だちとのやり取りをなかなか終わらせられないこと」(24.4%)が最も多く、次いで「メッセージを読んだことがわかる機能(既読確認など)があること」(19.4%)、「ソーシャルメディア内の人間関係」(19.0%)が多い。

➤ ネット依存傾向「高」は、すべての項目において悩みや負担を感じる割合が高く、特に、「友だちとのやり取りをなかなか終わらせられないこと」(依存傾向「高」40.5%、全体24.4%)、「ソーシャルメディア内の人間関係」(依存傾向「高」38.5%、全体19.0%)において高い。

【ソーシャルメディアを利用する際に悩んだり負担に感じること(複数回答)】

		ソーシャルメディア内の人間関係	頻繁にメッセージを投稿しなければいけないような気がする	友だちのメッセージをチェックすること	自分の個人情報やプライベートな事柄をどこまで書いてよいものか悩む	他人の個人情報やプライベートな事柄をどこまで書いてよいものか悩む	悪意のあるコメントや荒らしがくること
全体		19.0%	4.6%	16.8%	12.3%	10.0%	9.1%
学年	1年生	19.3%	5.4%	18.8%	12.8%	9.8%	9.5%
	2年生	17.2%	4.1%	16.3%	11.5%	9.9%	8.7%
	3年生	20.5%	4.2%	15.7%	12.8%	10.3%	9.2%
性別	男	14.2%	4.5%	14.5%	9.3%	8.1%	8.4%
	女	22.9%	4.5%	18.5%	14.8%	11.4%	9.4%
ネット依存傾向	高	38.5%	10.7%	30.4%	22.9%	21.2%	21.8%
	中	22.0%	4.8%	18.9%	14.6%	11.7%	10.1%
	低	9.9%	2.6%	10.5%	6.9%	4.5%	4.9%

		見ていない間に自分の悪口が書かれていないか心配になる	メッセージを読んだことがわかる機能(既読確認など)があること	メッセージがきたらすぐに返事を書かなければいけないこと	友だちとのやり取りをなかなか終わらせられないこと	自分の書いたメッセージに反応がないこと	あてはまるものはない	N
全体		15.4%	19.4%	15.3%	24.4%	16.0%	41.6%	6,942
学年	1年生	17.7%	20.5%	17.7%	25.1%	19.3%	40.5%	2,096
	2年生	14.8%	18.3%	14.0%	24.6%	14.7%	44.4%	2,425
	3年生	13.9%	19.6%	14.4%	23.5%	14.3%	39.7%	2,421
性別	男	11.2%	14.6%	12.1%	17.3%	13.3%	49.3%	3,135
	女	19.1%	23.4%	18.2%	30.6%	18.3%	35.0%	3,559
ネット依存傾向	高	27.6%	27.2%	25.9%	40.5%	34.0%	23.3%	467
	中	18.1%	22.5%	17.1%	27.3%	18.8%	34.0%	3,599
	低	8.1%	12.9%	10.3%	16.9%	7.7%	57.6%	2,194

※ 分析母数はソーシャルメディア利用者数(ただし、DK、NAを除いて集計)。

5-1 中学生のネット利用 ～ネット利用によるメリット～

◆ ネット利用によるメリットとして、「ネットで見られないことをすぐに調べられるので、時間を効率的に使えるようになった」(76.1%)が最も多く、次いで「いろいろな情報を収集できるので知識が増えた」(55.8%)、「今まで知らなかったことでも簡単に調べられるので世界が広がった」(52.8%)が多い。

➢ 依存傾向「高」は、全体に比べて特に「生活が楽しくなった」(依存傾向「高」76.2%、全体45.9%)、「いろいろな情報を知ることができるので、友だちとの話題が増えた」(依存傾向「高」58.4%、全体39.2%)の割合が高い。

【ネット利用によるメリット(複数回答)】

		ネットで見られないことをすぐに調べられるので、時間を効率的に使えるようになった	ネットを通じて友だちに質問したり、質問サイトでわからないことを簡単に尋ねることができるので、勉強がはかどるようになった	ネット上の辞書サイトを使って、英語や国語の勉強がはかどるようになった	ネット上の教材(動画やアプリなど)を使って楽しく勉強できるようになった	いろいろな情報を収集できるので知識が増えた	今まで知らなかったことでも簡単に調べられるので世界が広がった	よくニュースに触れるようになった	情報を受け取るだけでなく、自分からも発信できるようになった	いろいろな情報を知ることができるので、友だちとの話題が増えた	生活が楽しくなった	あてはまるものはない	N
全体		76.1%	27.5%	40.6%	19.4%	55.8%	52.8%	35.3%	14.2%	39.2%	45.9%	8.1%	9,713
学年	1年生	74.5%	28.2%	38.2%	20.2%	50.9%	50.8%	33.4%	13.7%	39.4%	48.8%	10.5%	3,214
	2年生	79.2%	28.9%	43.8%	20.3%	57.6%	54.8%	36.1%	14.0%	40.6%	46.9%	6.5%	3,357
	3年生	74.4%	25.4%	39.7%	17.7%	58.8%	52.7%	36.4%	14.7%	37.7%	42.0%	7.3%	3,142
性別	男	73.6%	25.4%	34.9%	17.0%	53.2%	49.7%	35.9%	12.8%	36.0%	44.8%	10.7%	4,622
	女	78.6%	29.4%	46.4%	21.6%	58.7%	56.0%	34.8%	15.3%	42.4%	47.1%	5.5%	4,819
ネット依存傾向	高	78.4%	45.7%	49.3%	27.3%	70.1%	71.3%	39.6%	34.7%	58.4%	76.2%	2.8%	495
	中	81.1%	33.3%	47.3%	22.7%	63.5%	61.9%	37.9%	18.6%	48.8%	58.2%	2.9%	4,368
	低	70.5%	18.3%	32.6%	14.8%	45.7%	40.8%	32.3%	6.2%	26.2%	27.9%	14.6%	3,991

(注) ネットの利用とは、メール、ソーシャルメディア、動画サイト、ニュース、ブログ、ホームページ、ゲームなどネットにつながるあらゆるサービス・アプリの利用を指し、スマートフォン、ガラケー、パソコン、タブレット端末などどのような機器を使う場合も含む。

※ 分析母数は有効回答数全体(ただし、DK、NAを除いて集計)。

5-2 中学生のネット利用 ～ネット利用による友だち・保護者との関係への影響～

◆ ネット利用に伴い、「友だちとのつき合いが深くなった」(51.0%)が最も多く、次いで「色々な友だちと幅広くつき合うようになった」(44.6%)、「友だちの数が増えた」(41.3%)が多いなど友だち関係にプラスの影響が見られる。

- 概ねネット依存傾向が高いほど友だち・保護者との関係に大きな影響が見られる。特に、依存傾向「高」は、「ネット上で同じ趣味の友だちと知り合うようになった」(62.7%)、「ネット上で見知らない人とやりとりするようになった」(56.5%)などネット上で交友関係を広げている割合が依存傾向「中」「低」の2倍以上となっている。
- また、依存傾向「高」は、「保護者に注意されることが多くなった」(53.6%)、「友だちとのやりとりに気をつかうことが多くなった」(31.2%)などマイナスの影響も依存傾向「中」「低」より大きい傾向がある。

【ネット利用による友だち・保護者との関係への影響(複数回答)】

		友だちとのつき合いが深くなった	色々な友だちと幅広くつき合うようになった	友だちの数が増えた	ネット上で見知らない人とやり取りするようになった	ネット上で同じ趣味の友だちと知り合うようになった	普段あまり接しないような人(違う地域の人、違う世代の人)と知り合うようになった	悩みを相談できる相手が増えた	友だちに縛られるようになった
全体		51.0%	44.6%	41.3%	16.4%	23.1%	21.1%	23.2%	1.8%
学年	1年生	53.1%	43.3%	43.5%	13.9%	19.2%	19.4%	24.9%	1.6%
	2年生	51.5%	44.5%	40.6%	16.4%	23.2%	21.7%	23.6%	1.8%
	3年生	48.2%	46.1%	39.6%	18.9%	27.1%	22.2%	20.9%	1.9%
性別	男	50.7%	41.0%	38.6%	13.7%	17.1%	17.6%	18.1%	1.6%
	女	51.1%	47.7%	43.4%	18.8%	28.8%	24.3%	27.7%	1.8%
ネット依存傾向	高	66.9%	68.1%	67.9%	56.5%	62.7%	54.6%	47.3%	6.3%
	中	59.2%	55.0%	51.3%	21.2%	30.6%	27.0%	28.3%	1.9%
	低	39.2%	29.4%	26.0%	5.2%	9.3%	9.7%	13.8%	0.8%

		友だちとのやりとりに気をつかうことが多くなった	友だちとのやり取りが気になって他のことに集中できなくなった	自分の気持ちについて、より積極的に表現できるようになった	保護者と頻繁に連絡を取り合うようになった	保護者と本音で話ができるようになった	保護者に縛られるようになった	保護者に注意されるが多くなった	あてはまるものはない	N
全体		14.4%	6.5%	15.7%	23.9%	5.3%	3.6%	20.7%	22.5%	10,187
学年	1年生	16.0%	6.9%	16.4%	25.1%	6.0%	3.9%	24.4%	23.6%	3,400
	2年生	13.8%	6.0%	15.9%	22.1%	5.5%	3.5%	21.0%	22.9%	3,527
	3年生	13.6%	6.5%	14.6%	24.5%	4.5%	3.3%	16.6%	21.1%	3,260
性別	男	13.6%	4.8%	13.3%	17.4%	4.2%	3.7%	18.2%	26.9%	4,912
	女	15.0%	7.9%	17.8%	30.3%	6.3%	3.1%	23.1%	18.7%	4,955
ネット依存傾向	高	31.2%	28.9%	34.0%	24.3%	10.1%	12.5%	53.6%	3.2%	526
	中	17.8%	8.0%	18.8%	26.2%	5.7%	4.1%	28.2%	10.8%	4,531
	低	8.3%	1.5%	9.3%	21.2%	4.0%	1.6%	7.7%	38.9%	4,135

5-3 中学生のネット利用 ～ネット利用による生活への影響等①～

◆ 「暇さえあれば、ネットを利用している」が50.4%、「自分はネット依存だと思う」も20.5%が該当している。

- ネット利用による生活への影響について、いずれの項目も、ネット依存傾向が高いほど割合が高い。依存傾向「高」は、「暇さえあれば、ネットを利用している」(92.0%)が9割を超え、「自分はネット依存だと思う」(71.9%)が7割を超えている。
- 特に、依存傾向「高」は、「ネットのしすぎが原因で、ひきこもり気味になっている」(依存傾向「高」40.6%、全体7.4%)、「ネットのしすぎが原因で、試験に失敗したことがある」(依存傾向「高」35.2%、全体9.9%)、「ネットのしすぎが原因で、身体的な健康を損ねたことがある」(依存傾向「高」33.6%、全体7.9%)などネット利用による生活への影響の割合が全体の数倍高くなっている。

【ネット利用による生活への影響】

		ネットのしすぎが原因で、何度か学校に遅刻したことがある		ネットのしすぎが原因で、何度が学校を休んだことがある		ネットのしすぎが原因で、身体的な健康を損ねたことがある		ネットのしすぎが原因で、精神的に不安定になったことがある		ネットのしすぎが原因で、試験に失敗したことがある		ネットのしすぎが原因で、約束をすっばかしたことがある	
		(N)		(N)		(N)		(N)		(N)		(N)	
全体		3.8%	10,396	1.4%	10,394	7.9%	10,382	6.2%	10,381	9.9%	10,373	5.8%	10,384
学年	1年生	2.6%	3,476	1.1%	3,474	7.0%	3,470	6.1%	3,472	10.1%	3,470	7.0%	3,472
	2年生	3.4%	3,577	1.3%	3,577	7.6%	3,575	5.9%	3,572	11.3%	3,569	5.7%	3,574
	3年生	5.5%	3,343	1.9%	3,343	9.1%	3,337	6.5%	3,337	8.2%	3,334	4.5%	3,338
性別	男	5.1%	5,063	1.8%	5,063	7.6%	5,056	4.2%	5,055	10.0%	5,052	7.4%	5,056
	女	2.1%	5,012	0.9%	5,012	7.9%	5,007	7.9%	5,007	9.5%	5,003	3.8%	5,009
ネット依存傾向	高	19.3%	535	9.9%	535	33.6%	535	32.4%	534	35.2%	531	28.8%	534
	中	4.3%	4,616	1.4%	4,616	10.3%	4,606	7.6%	4,608	14.4%	4,606	6.6%	4,610
	低	0.5%	4,303	0.1%	4,303	1.6%	4,303	1.3%	4,301	2.0%	4,300	1.3%	4,302
		ネットのしすぎが原因で、友だちを失ったことがある		お金を払って、ネット上のゲームやコンテンツ(音楽、アプリなど)を買ったことがある		暇さえあれば、ネットを利用している		ネットのしすぎが原因で、ひきこもり気味になっている		自分はネット依存だと思う		今の時代、ネットを使って生活するのは当たり前だと思う	
		(N)		(N)		(N)		(N)		(N)		(N)	
全体		1.9%	10,348	33.7%	10,393	50.4%	10,378	7.4%	10,373	20.5%	10,351	66.3%	10,350
学年	1年生	2.1%	3,460	31.2%	3,475	47.6%	3,470	7.0%	3,463	18.8%	3,457	62.5%	3,456
	2年生	1.5%	3,560	34.6%	3,579	50.8%	3,571	7.6%	3,574	20.2%	3,565	67.6%	3,563
	3年生	2.2%	3,328	35.2%	3,339	52.8%	3,337	7.5%	3,336	22.5%	3,329	69.0%	3,331
性別	男	2.0%	5,038	42.8%	5,061	46.1%	5,058	7.1%	5,052	17.2%	5,044	62.4%	5,040
	女	1.6%	4,992	24.0%	5,011	54.6%	5,002	7.3%	5,004	23.7%	4,990	70.6%	4,995
ネット依存傾向	高	12.8%	532	54.9%	536	92.0%	536	40.6%	534	71.9%	533	89.5%	535
	中	1.9%	4,594	41.0%	4,613	69.9%	4,605	9.4%	4,603	29.7%	4,587	77.6%	4,600
	低	0.3%	4,286	21.8%	4,301	22.7%	4,298	1.0%	4,300	3.9%	4,296	51.1%	4,280

(注) 各項目について経験したり、感じたりしたことが「ある」と回答した割合。

※ 分析母数は有効回答数全体。

※ DK、NAを除いて集計しているため項目ごとのN数は異なる。

5-4 中学生のネット利用 ～ネット利用による生活への影響等②～

◆ ネット利用により減少した時間は「睡眠時間」(-23.3分)が最も長く、次いで「テレビを見る時間」(-8.6分)が長い。

- 依存傾向「高」は、ネットを使い始める前に比べて、「睡眠時間」(-68.0分)、「テレビを見る時間」(-31.7分)、「家族と顔を合わせて話をする時間」(-25.9分)が大きく減少している。

【ネット利用による生活への影響】

(分)

		平日、睡眠や食事などを除いて家で過ごす時間	通学にかかる時間	部活動の時間	学習塾や習い事の時間	自宅で勉強する時間	本を読む時間	テレビを見る時間	睡眠時間	家族と顔を合わせて話をする時間
全体		12.6	0.7	7.2	7.9	3.4	0.4	-8.6	-23.3	-1.5
学年	1年生	13.8	1.1	19.4	8.8	3.2	-0.5	-8.5	-23.7	-0.5
	2年生	8.9	0.5	8.7	11.4	4.2	0.8	-9.0	-24.8	-2.5
	3年生	15.5	0.4	-7.8	3.2	2.6	0.8	-8.3	-21.2	-1.5
性別	男	16.0	0.6	6.1	8.1	3.7	1.4	-5.1	-19.6	-0.6
	女	9.0	0.7	8.3	7.7	3.0	-0.7	-12.4	-27.0	-2.7
ネット依存傾向	高	16.1	-0.1	4.1	5.7	-7.0	-5.5	-31.7	-68.0	-25.9
	中	5.1	0.3	4.7	6.8	1.0	-1.4	-15.9	-29.9	-6.1
	低	20.7	1.2	9.8	9.0	7.5	3.1	1.4	-11.0	5.5

(注) 各項目の数字(時間)は、「ネットを使い始める前」と「普段(現在)」の時間の差分により算出したもの。

6-1 中学生のスマートフォン／ガラケーの利用 ～使い始めてから大幅に減った時間～

◆ **スマートフォン／ガラケーを使い始めてから減った時間は、「睡眠時間」(37.8%)が最も多く、次いで「勉強の時間」(32.5%)、「テレビを見る時間」(27.5%)が多い。**

➤ すべての項目(「その他」、「あてはまるものはない」を除く。)で、ネット依存傾向が高いほど割合が高い。依存傾向「高」は、「睡眠時間」(80.9%)、「勉強の時間」(73.9%)のほか5割を超える項目が複数あり、スマートフォン／ガラケーを使い始めたことにより、日常生活の過ごし方が大きく変わったものと考えられる。

【スマートフォン／ガラケーを使い始めてから減った時間(複数回答)】

		勉強の時間	部活の時間	外で運動する時間	食事の時間	睡眠時間	家の手洗い(炊事、掃除、洗濯など)の時間	外へ遊びに出かける時間	ネット以外の趣味に使う時間
全体		32.5%	2.1%	20.1%	4.2%	37.8%	21.5%	12.1%	16.2%
学年	1年生	35.0%	1.6%	19.9%	4.7%	32.9%	25.9%	13.8%	15.7%
	2年生	31.1%	2.3%	17.1%	4.2%	38.2%	21.2%	11.8%	15.2%
	3年生	31.4%	2.3%	23.4%	3.7%	42.0%	17.4%	10.7%	17.9%
性別	男	29.4%	2.7%	19.2%	4.4%	34.6%	19.2%	12.7%	13.9%
	女	34.7%	1.2%	20.5%	3.8%	40.1%	23.1%	11.3%	18.0%
ネット依存傾向	高	73.9%	9.7%	52.4%	20.3%	80.9%	59.3%	39.4%	41.3%
	中	41.8%	1.8%	25.2%	4.3%	50.3%	27.1%	14.7%	20.2%
	低	14.0%	0.9%	8.5%	1.6%	14.9%	8.2%	4.9%	8.0%

		本を読む時間	マンガや雑誌を読む時間	テレビを見る時間	家族と話をする時間	友だちと会う時間	その他	あてはまるものはない	N
全体		24.6%	18.4%	27.5%	15.6%	6.1%	1.1%	27.1%	8,742
学年	1年生	27.1%	21.0%	27.4%	17.5%	7.8%	1.0%	28.5%	2,798
	2年生	22.0%	17.7%	28.0%	16.5%	5.5%	1.2%	28.0%	3,061
	3年生	24.9%	16.5%	27.0%	12.7%	5.0%	1.1%	24.8%	2,883
性別	男	23.7%	19.8%	27.5%	15.5%	6.5%	1.3%	28.9%	4,022
	女	25.4%	16.8%	27.1%	15.5%	5.5%	0.7%	26.0%	4,459
ネット依存傾向	高	45.6%	35.3%	51.1%	52.8%	28.7%	3.5%	3.9%	487
	中	29.0%	21.4%	32.3%	18.9%	6.4%	0.7%	13.8%	4,101
	低	15.9%	11.6%	17.3%	5.3%	2.0%	1.1%	48.2%	3,336

(注) 各項目の割合は、スマートフォンやガラケーを使い始めたことによって、使い始める前より大幅に減った時間がある(あてはまる)と回答した割合。 ※ 分析母数はスマートフォン／ガラケー利用者数(ただし、DK、NAを除いて集計)。

6-2 中学生のスマートフォン／ガラケーの利用 ～保護者との約束～

◆ スマートフォン／ガラケーの利用に当たっての保護者との約束は、「食事中は使わない」(60.0%)が最も多く、次いで「『何時以降は利用しない』など利用してよい時間帯を制限している」(21.4%)が多い。一方、「約束していることはない」とする割合は26.5%となっている。

➢ 依存傾向別に見ても、保護者との約束の有無、内容について、顕著な傾向が見られない。つまり、依存傾向「高」の家庭が、依存傾向「中」「低」の家庭に比べ、利用ルールを決めている割合が低いといった傾向は見られない。

【スマートフォン・／ラケーの利用に当たっての保護者との約束(複数回答)】

		「何時以降は利用しない」など利用してよい時間帯を制限している	「何時間以上利用しない」など利用時間の上限を決めている	自分の部屋や寝室ではスマートフォンやガラケーを使わない	食事中はスマートフォンやガラケーを使わない	利用料金の上限を決めている	成績が下がったら利用を制限する	その他	約束していることはない	N
全体		21.4%	9.1%	15.5%	60.0%	16.2%	15.7%	6.5%	26.5%	8,711
学年	1年生	29.8%	14.0%	20.1%	65.9%	18.1%	22.2%	8.4%	19.5%	2,775
	2年生	21.7%	7.9%	15.6%	62.0%	15.2%	16.0%	6.8%	25.5%	3,057
	3年生	12.9%	5.5%	10.9%	52.2%	15.5%	9.2%	4.5%	34.4%	2,879
性別	男	19.4%	10.3%	14.8%	54.3%	14.3%	16.6%	5.1%	30.5%	4,023
	女	23.2%	7.9%	16.2%	65.3%	17.7%	15.0%	7.8%	22.8%	4,450
ネット依存傾向	高	20.4%	6.9%	11.8%	55.5%	18.3%	20.4%	7.7%	29.5%	465
	中	20.3%	7.9%	14.0%	62.1%	16.9%	17.9%	5.4%	24.6%	4,037
	低	22.4%	10.5%	17.9%	58.3%	15.1%	12.4%	7.6%	29.0%	3,368

※ 分析母数はスマートフォン／ガラケー利用者数(ただし、DK、NAを除いて集計)。

6-3 中学生のスマートフォン／ガラケーの利用 ～フィルタリング利用～

◆ フィルタリングサービスについては、「利用している」が最も多く(44.2%)、次いで「利用しているかどうか分からない」(35.9%)が多くなっており、フィルタリングサービスそのものへの理解が十分とは言えない実態がうかがえる。

- ネット依存傾向が高いほど「最初から利用していない」の割合が高い。一方で、「利用している」は依存傾向による差があまり見られず、回答時のフィルタリング利用と依存傾向の間に明確な関係は見られない。
- なお、依存傾向が高いほど「利用しているかどうか分からない」の割合が低いことから、依存傾向「高」は、依存傾向「中」「低」に比べ、フィルタリングサービスに関する認知が高いと推測される。

【フィルタリングの利用】

		利用している	最初から利用していない	利用していたが解除した	利用しているかどうか分からない	N
全体		44.2%	16.0%	3.8%	35.9%	8,365
学年	1年生	43.0%	14.5%	2.5%	40.0%	2,629
	2年生	44.6%	16.4%	3.3%	35.7%	2,951
	3年生	45.0%	17.1%	5.6%	32.3%	2,785
性別	男	42.9%	20.0%	4.0%	33.1%	3,843
	女	45.2%	12.6%	3.5%	38.7%	4,282
ネット依存傾向	高	45.4%	20.8%	7.9%	26.0%	443
	中	43.5%	17.4%	4.4%	34.7%	3,893
	低	44.9%	13.7%	2.3%	39.1%	3,221

※ 分析母数はスマートフォン／ガラケー利用者数(ただし、DK、NAを除いて集計)。

※ 四捨五入の関係で、合計が100%にならない場合がある。

6-4 中学生のスマートフォン／ガラケーの利用 ～フィルタリング利用(サービスごと)～

◆ 「利用時間を制限する機能」以外は「使っている」が最も多く、4割から5割超となっている。特に「サイト・アプリの閲覧制限を個別に設定(カスタマイズ)できる機能」(54.0%)が最も多い。

- 依存傾向が高いほど、どの機能についても「最初から使っていない」の割合が高い。他方、「使っている」割合は依存傾向の度合いとの明確な関係はあまり見られず、依存傾向「高」も「中」「低」と同程度に利用していることがわかる。
- 依存傾向が高いほど、どの機能についても「使っているかどうか分からない」の割合が低いことから、依存傾向「高」は、依存傾向「中」「低」に比べ、フィルタリングサービスや機能に関する認知が高いと推測される。

【サービスごとのフィルタリングの利用】

	アプリの起動を制限する機能					Wi-Fi接続時の閲覧を制限する機能					
	使っている	最初から使っていない	使っていたが解除した	使っているかどうか分からない	N	使っている	最初から使っていない	使っていたが解除した	使っているかどうか分からない	N	
全体	40.4%	29.5%	1.9%	28.2%	3,580	45.8%	23.2%	1.2%	29.8%	3,581	
学年	1年生	41.3%	26.5%	1.7%	30.5%	1,089	47.8%	20.8%	0.8%	30.6%	1,093
	2年生	40.8%	30.4%	2.1%	26.7%	1,281	44.4%	23.4%	1.6%	30.6%	1,283
	3年生	39.0%	31.2%	1.9%	27.9%	1,210	45.5%	25.1%	1.2%	28.1%	1,205
性別	男	36.0%	36.9%	2.3%	24.8%	1,586	46.1%	27.4%	1.4%	25.1%	1,588
	女	43.8%	23.8%	1.5%	31.0%	1,886	45.1%	19.8%	1.1%	34.0%	1,886
ネット依存傾向	高	39.4%	38.9%	4.0%	17.7%	198	45.7%	37.6%	3.0%	13.7%	197
	中	37.2%	31.8%	2.0%	29.0%	1,643	43.3%	25.7%	1.1%	29.9%	1,645
	低	44.7%	25.0%	1.2%	29.1%	1,394	48.9%	18.2%	0.6%	32.3%	1,393

	利用時間を制限する機能					サイト・アプリの閲覧制限を個別に設定(カスタマイズ)できる機能					
	使っている	最初から使っていない	使っていたが解除した	使っているかどうか分からない	N	使っている	最初から使っていない	使っていたが解除した	使っているかどうか分からない	N	
全体	12.3%	55.2%	2.2%	30.3%	3,516	54.0%	14.1%	1.1%	30.9%	3,627	
学年	1年生	13.7%	52.0%	2.1%	32.2%	1,070	49.7%	14.3%	1.3%	34.7%	1,097
	2年生	11.2%	56.3%	2.6%	29.9%	1,260	55.3%	13.9%	1.2%	29.5%	1,298
	3年生	12.1%	57.0%	1.8%	29.1%	1,186	56.4%	14.0%	0.7%	28.8%	1,232
性別	男	12.7%	56.8%	2.6%	28.0%	1,552	56.4%	16.3%	1.1%	26.3%	1,613
	女	11.2%	54.6%	1.9%	32.4%	1,862	52.1%	12.2%	1.0%	34.7%	1,907
ネット依存傾向	高	16.3%	64.3%	3.6%	15.8%	196	58.6%	21.2%	4.0%	16.2%	198
	中	11.8%	57.2%	2.4%	28.6%	1,616	54.4%	15.1%	0.9%	29.6%	1,664
	低	12.5%	51.6%	1.1%	34.8%	1,369	52.1%	12.6%	0.3%	35.1%	1,415

※ 分析母数はスマートフォン／ガラケー利用者数。
 ※ DK、NAを除いて集計しているため項目ごとのN数は異なる。
 ※ 四捨五入の関係で、合計が100%にならない場合がある。

6-5 学生のスマートフォン／ガラケーの利用 ～フィルタリング説明～

◆ フィルタリングの説明については、「よく覚えていない」(52.7%)が最も多く、次いで「購入した時に自分はお店にいなかった」(21.6%)が多い。他方、「フィルタリングの設定方法の説明があり、設定までしてくれた」は16.4%に留まっている。

【フィルタリングの説明】

		フィルタリングの設定方法の説明があり、設定までしてくれた	フィルタリングの設定方法の説明はあったが、設定はしてくれなかった	フィルタリングの解除方法(IDやパスワードの管理を含む)の説明があった	フィルタリングを解除した場合のリスク(有害情報を見ることができるといった)の説明があった	フィルタリングについて説明はなかった	よく覚えていない	購入した時に自分はお店にいなかった	N
全体		16.4%	5.7%	6.9%	6.1%	3.3%	52.7%	21.6%	7,914
学年	1年生	14.2%	4.3%	7.2%	5.4%	3.5%	51.4%	26.4%	2,512
	2年生	14.7%	5.1%	6.8%	6.0%	3.1%	53.1%	23.6%	2,794
	3年生	20.3%	7.6%	6.8%	6.9%	3.3%	53.5%	14.8%	2,608
性別	男	16.4%	6.1%	7.1%	6.6%	4.4%	48.3%	24.1%	3,636
	女	16.4%	5.2%	6.8%	5.7%	2.3%	56.3%	19.5%	4,104
ネット依存傾向	高	18.3%	11.7%	11.9%	11.2%	3.7%	48.7%	16.9%	427
	中	16.1%	5.7%	6.9%	6.1%	3.7%	54.1%	19.7%	3,692
	低	16.5%	4.7%	5.9%	5.1%	3.0%	50.9%	24.8%	3,052

※ 分析母数はスマートフォン／ガラケー利用者数(ただし、DK、NAを除いて集計)。

7-1 中学生の社会生活・人間関係 ～日常生活への満足度～

◆ 「友だち」「保護者」「学校生活」のすべてについて、「満足」「やや満足」を合わせると8割から9割であり、全体として満足している割合が高い。

➢ 依存傾向が高いほど「満足」の割合が低く、「不満」「やや不満」の割合が高い。特に、「保護者」「学校生活」について、この傾向が顕著であり、「不満」「やや不満」を合わせると3割以上となっている。依存傾向「高」は、依存傾向「中」「低」に比べ、日常生活への不満の度合いが高いことがうかがえる。

【日常生活への満足度】

		友だち					保護者					学校生活				
		満足	やや満足	やや不満	不満	N	満足	やや満足	やや不満	不満	N	満足	やや満足	やや不満	不満	N
全体		64.0%	27.6%	5.7%	2.7%	10,319	56.7%	28.8%	9.4%	5.2%	10,304	50.7%	33.4%	9.6%	6.3%	10,301
学年	1年生	62.2%	28.3%	6.4%	3.1%	3,473	55.4%	29.6%	9.6%	5.5%	3,464	47.4%	35.4%	10.6%	6.6%	3,465
	2年生	62.2%	29.1%	6.1%	2.6%	3,543	54.7%	30.3%	10.5%	4.6%	3,540	47.9%	35.2%	10.5%	6.4%	3,538
	3年生	67.9%	25.2%	4.4%	2.5%	3,303	60.2%	26.4%	8.0%	5.5%	3,300	57.2%	29.2%	7.6%	6.0%	3,298
性別	男	66.8%	26.3%	4.3%	2.6%	5,107	54.9%	29.7%	9.7%	5.7%	5,096	53.0%	31.8%	8.7%	6.5%	5,093
	女	61.3%	29.0%	6.9%	2.8%	5,022	58.6%	27.7%	9.2%	4.5%	5,018	48.4%	35.0%	10.5%	6.2%	5,017
ネット依存傾向	高	50.8%	32.8%	8.2%	8.2%	524	34.9%	30.7%	18.7%	15.6%	524	33.0%	32.6%	15.6%	18.7%	524
	中	59.9%	31.0%	6.5%	2.6%	4,540	50.7%	33.2%	10.9%	5.3%	4,530	46.1%	36.7%	11.0%	6.2%	4,530
	低	69.3%	24.2%	4.4%	2.2%	4,241	66.4%	23.6%	6.5%	3.5%	4,236	57.9%	30.3%	7.0%	4.8%	4,231

- ※ 分析母数は有効回答数全体。
- ※ DK、NAを除いて集計しているため項目ごとのN数は異なる。
- ※ 四捨五入の関係で、合計が100%にならない場合がある。

7-2 中学生の社会生活・人間関係 ～心理傾向～

◆ ネット依存傾向が高いほど精神的不健康に関する値が高く、他者の視線や評価を意識しやすい傾向が見られる。

- 依存傾向が高いほど「抑うつ」や「孤独感」といった精神的不健康に関する値が高い傾向が見られ、同時に「公的自意識(他者の視線や評価を意識する傾向)」も高い。
- 依存傾向「高」は、「社交性」がやや低い。

【心理傾向】

		社交性		抑うつ		孤独感		公的自意識	
			(N)		(N)		(N)		(N)
全体		3.2	10,235	2.0	10,210	2.0	10,161	2.6	10,125
学年	1年生	3.1	3,447	1.9	3,433	2.0	3,412	2.7	3,397
	2年生	3.1	3,514	2.0	3,517	2.0	3,499	2.6	3,492
	3年生	3.2	3,274	2.0	3,260	2.0	3,250	2.6	3,236
性別	男	3.2	5,076	1.9	5,052	2.1	5,052	2.6	5,034
	女	3.2	4,979	2.0	4,985	2.0	4,969	2.7	4,954
ネット依存傾向	高	2.9	521	2.5	523	2.3	520	2.9	516
	中	3.2	4,502	2.1	4,492	2.1	4,478	2.8	4,461
	低	3.2	4,209	1.8	4,195	1.9	4,183	2.5	4,175

(注) 心理傾向を構成する項目への回答について、「あてはまる」を4点、「ややあてはまる」を3点、「あまりあてはまらない」を2点、「あてはまらない」を1点として、それぞれの評定値(1~4点)を合計したうえで項目数で除した「加算得点」の平均を算出したもの。(「加算得点」はいずれの心理傾向も最小1点、最大4点)

(注) 心理傾向項目 出典

社交性: Buss, A.H. (1986) Social Behavior and Personality, Lawrence Erlbaum Assoc Inc. (A.H.バス著・大淵憲一監訳『対人行動とパーソナリティ』, 北大路書房, 1991)より抜粋。

抑うつ: Zung, W.W.K. (1965) A Self-rating Depression Scale. Archives of General Psychiatry, 12, 63-70.より抜粋。邦訳は福田一彦・小林重雄(1983)『日本版自己評価式抑うつ性尺度(SDS)使用手引き』三京書房を参考に一部改編。

孤独感: 工藤力・西川正之(1983)「孤独感に関する研究(I)—孤独感尺度の信頼性・妥当性の検討—」, 『実験社会心理学研究』Vol.22(2), 99-108. 所載の改訂版UCLA孤独感尺度邦訳版より抜粋。

公的自意識: 菅原健介(1984)「自意識尺度(self-consciousness scale)日本語版作成の試み」, 『心理学研究』, 55, 184-188.より抜粋。

※ 分析母数は有効回答数全体。

※ DK, NAを除いて集計しているため項目ごとのN数は異なる。

7-3 中学生の社会生活・人間関係 ～友人関係～

◆ ネット依存傾向が高いほど友人関係が充実していない傾向が見られる。

- 依存傾向が高いほど「友だちの数は多い方だ」「友だちと一緒にいると楽しい」の値が低く、また、「友だちでもずっと一緒にいたら疲れる」の値が高いなど友人関係に負担を感じやすい傾向が見られる。また、「どんな時でも相手の機嫌を損ねたくない」「できるだけ敵は作りたくない」の値が高い傾向が見られる。

【友人関係】

		友だちの数は多い方だ		友だちでもずっと一緒にいたら疲れる		友だちによく悩みごとを相談する		男女にかかわらず友だちになれる		友だちとわかり合おうとして、少くらい傷いても構わない		どんな友だちとも仲良しでいたい		(点)
			(N)		(N)		(N)		(N)		(N)		(N)	
全体		3.0	10,288	2.3	10,300	2.4	10,250	2.9	10,263	2.6	10,280	2.9	10,283	
学年	1年生	3.1	3,469	2.2	3,474	2.4	3,449	2.9	3,458	2.6	3,468	2.9	3,462	
	2年生	2.9	3,536	2.3	3,541	2.4	3,521	2.9	3,528	2.5	3,537	2.9	3,539	
	3年生	2.9	3,283	2.4	3,285	2.4	3,280	2.9	3,277	2.6	3,275	2.8	3,282	
性別	男	3.0	5,108	2.2	5,106	2.2	5,079	2.9	5,084	2.6	5,095	2.9	5,097	
	女	2.9	5,007	2.3	5,022	2.7	5,000	2.9	5,007	2.6	5,018	2.8	5,017	
ネット依存傾向	高	2.8	523	2.8	520	2.5	520	2.9	519	2.7	521	2.7	520	
	中	2.9	4,519	2.4	4,526	2.5	4,499	2.9	4,506	2.6	4,514	2.8	4,517	
	低	3.0	4,237	2.1	4,237	2.3	4,219	2.9	4,229	2.5	4,236	2.9	4,233	

		友だちと一緒にいると楽しい		どんな時でも相手の機嫌を損ねたくない		できるだけ敵は作りたくない		不満なことがあった場合に聞いてくれる人がいる		友だちなどから色々相談されることが多い	
			(N)		(N)		(N)		(N)		(N)
全体		3.5	10,261	2.8	10,273	3.2	10,293	3.2	10,219	2.6	10,219
学年	1年生	3.6	3,456	2.9	3,460	3.2	3,469	3.2	3,443	2.6	3,440
	2年生	3.5	3,525	2.8	3,529	3.2	3,539	3.2	3,516	2.6	3,517
	3年生	3.5	3,280	2.8	3,284	3.1	3,285	3.2	3,260	2.7	3,262
性別	男	3.5	5,090	2.9	5,099	3.2	5,107	3.0	5,071	2.4	5,083
	女	3.6	5,002	2.8	5,010	3.1	5,023	3.3	5,011	2.9	4,995
ネット依存傾向	高	3.3	521	3.0	521	3.3	522	3.0	522	2.7	523
	中	3.5	4,509	2.9	4,515	3.2	4,522	3.2	4,496	2.7	4,495
	低	3.6	4,221	2.8	4,226	3.1	4,237	3.2	4,205	2.6	4,207

(注) 各項目への回答について、「あてはまる」を4点、「ややあてはまる」を3点、「あまりあてはまらない」を2点、「あてはまらない」を1点とした評定値の平均(最小1点、最大4点)。

※ 分析母数は有効回答数全体。

※ DK、NAを除いて集計しているため項目ごとのN数は異なる。27

7-4 中学生の社会生活・人間関係 ～保護者との関係～

◆ ネット依存傾向が高いほど保護者との信頼関係が希薄であり、保護者に否定的な評価をしている傾向が見られる。

- 依存傾向が高いほど「普段からあなたの気持ちをよく理解してくれる」「日頃からあなたの実力を評価し、認めてくれる」など保護者から理解、信頼されているという肯定感が低い傾向が顕著である。また、「相談しやすい」「一緒にいて楽しい」など保護者に対する肯定的な評価、信頼感が低い傾向が見られる。
- 一方で、依存傾向が高いほど「しつけに厳しい」「あなたに干渉しすぎる」など保護者への否定的評価が高い傾向が見られる。

【保護者との関係】

		普段からあなたの気持ちをよく理解してくれる		日頃からあなたの実力を評価し、認めてくれる		あなたを信頼している		あなたが落ち込んでいると、元気づけてくれる		どんなに困ったことでも助けてくれる		相談しやすい	
		(N)	(N)	(N)	(N)	(N)	(N)	(N)	(N)	(N)	(N)	(N)	(点)
全体		3.0	10,283	2.8	10,279	3.1	10,256	3.0	10,274	3.0	10,269	2.8	10,272
学年	1年生	3.0	3,469	2.8	3,463	3.1	3,455	3.0	3,460	3.0	3,462	2.8	3,462
	2年生	3.0	3,530	2.8	3,533	3.1	3,527	2.9	3,531	3.0	3,528	2.7	3,531
	3年生	3.0	3,284	2.9	3,283	3.1	3,274	3.0	3,283	3.0	3,279	2.8	3,279
性別	男	3.0	5,100	2.8	5,098	3.0	5,094	2.9	5,099	3.0	5,103	2.7	5,098
	女	3.0	5,022	2.9	5,021	3.1	5,005	3.1	5,016	3.1	5,011	2.8	5,017
ネット依存傾向	高	2.6	522	2.5	523	2.7	519	2.7	521	2.8	522	2.4	520
	中	2.9	4,513	2.8	4,512	3.0	4,508	2.9	4,511	3.0	4,505	2.7	4,506
	低	3.1	4,234	3.0	4,235	3.2	4,224	3.1	4,232	3.1	4,233	2.9	4,235

		一緒にいて楽しい		しつけに厳しい		あなたに干渉しすぎる		あなたに関心がない		あなたを嫌っている	
		(N)	(N)	(N)	(N)	(N)	(N)	(N)	(N)	(N)	(N)
全体		3.0	10,254	2.7	10,249	2.2	10,122	1.7	10,240	1.5	10,221
学年	1年生	3.1	3,452	2.7	3,458	2.2	3,387	1.7	3,450	1.5	3,441
	2年生	3.0	3,528	2.7	3,523	2.2	3,481	1.7	3,517	1.5	3,518
	3年生	3.0	3,274	2.6	3,268	2.2	3,254	1.8	3,273	1.6	3,262
性別	男	2.9	5,086	2.7	5,083	2.3	5,041	1.8	5,091	1.6	5,077
	女	3.2	5,012	2.6	5,008	2.1	4,930	1.6	4,994	1.4	4,990
ネット依存傾向	高	2.7	521	2.8	518	2.5	513	2.1	521	1.8	519
	中	3.0	4,504	2.6	4,501	2.2	4,450	1.8	4,493	1.6	4,481
	低	3.2	4,226	2.7	4,225	2.1	4,178	1.6	4,216	1.4	4,218

(注) 各項目への回答について、「あてはまる」を4点、「ややあてはまる」を3点、「あまりあてはまらない」を2点、「あてはまらない」を1点とした評定値の平均(最小1点、最大4点)。

※ 分析母数は有効回答数全体。

※ DK、NAを除いて集計しているため項目ごとのN数は異なる。28